讀賣新聞
ワークシート通信

2023年 9月 27日

★★

動物の元気な赤ちゃん

年　　組　（　　）　名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

◆大阪府吹田市で、動物の赤ちゃんが8月に生まれ、子どもたちに人気です。

ミニカバ 元気いっぱい

大阪府吹田市の生き物ミュージアム「ニフレル」で、8月に誕生したミニカバの赤ちゃんが愛らしい姿で人気を集めている＝写真、原田拓未撮影＝。

ミニカバは西アフリカに生息する絶滅が危惧されている動物。赤ちゃんはメスで、母親の「フルフル」と父親の「モトモト」の間に8月17日に生まれた。

現在の体重は約14キロと200キロ超の母親と比べるとまだまだ小さいが、元気に走ったり、昼寝をしたりしている。見学した東大阪市の小学2年瓜生虎汰郎くん（7）は「小さくてかわいい」と話していた。

今は午前中のみ公開しており、午後は展示エリア前のモニターにライブ映像を配信している。名前は9月中旬以降に公募して決めるという。

（2023年9月12日　読売新聞大阪夕刊より）

※先生やおうちの人といっしょに読みましょう。

【1】写真に写っている動物はなんですか。カタカナ4字で書きましょう。

【2】写真の赤ちゃんの名前を考えて書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

讀賣新聞
ワークシート通信

2023年 9月 27日

★★★

関東大震災から100年

年　組（　）名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク YOMIURI EDUCATION NETWORK

◆関東大震災から100年がたちました。震災の教訓はどのように活かされているでしょうか。

関東大震災 記録でたどる

発生から100年

当時の写真 AIでカラーに

もうもうと不吉な黒い煙を巻き上げる炎。荷物を抱えた人たちが、その様子を見て立ちすくんでいます。

この写真は100年前の1923年9月1日に起きた関東大震災の様子を写したもの。当時は白黒写真を撮影するカメラしかありませんでした。それを最新の人工知能（AI）で色づけし、さらに当時の資料を分析して、人の手でよりリアルに再現したものです。

この日のお昼前、午前11時58分に、神奈川県西部を震源とするマグニチュード（時事ワード6ページ）7・9の大地震が発生し、死者・行方不明者約10万5000人にも上る大惨事となりました。

関東大震災はどのように発生し、なぜこれほど多くの犠牲者が出たのでしょうか？ この悲惨な災害がもたらした教訓とは？ 地震を生き抜く知恵も紹介します。

▲関東大震災で火災が発生し、避難する人たちであふれる東京・日比谷の様子（国立科学博物館提供、カラー化協力…渡邉英徳・東京大学教授）※画像を一部加工しています

（2023年8月31日 読売KODOMO新聞より）

※答えは裏に書きましょう。

【1】この写真は、元々は白黒写真でした。どのようにして色づけしたのか、記事を読んで説明しましょう。

【発展問題】関東大震災ではどのような被害がでましたか。また、建物の建築など、その後の街づくりがどのように変わったのか、調べて書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

讀賣新聞
ワークシート通信

2023年 9月 27日

★★★★ 電動スケーター　新ルール始まる

年　組（　）名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

電動スケーター 新ルール始まる

◆「電動キックスケーター」の新たな交通ルールが、全国で導入されました。

（2023年7月1日　読売新聞夕刊より）

電動キックスケーターの交通安全イベントが行われた会場（東京都渋谷区で）

立ち乗り二輪車「電動キックスケーター」の新たな交通ルールが1日、全国で導入された。最高時速20キロ以下などの条件を満たす車体は、16歳以上であれば免許がなくても乗れるようになり、警察や事業者がルールの周知を進める。

「16歳未満は乗れません」「飲酒運転はダメですよ」。1日午前、東京・渋谷のJR渋谷駅近くの公園。電動キックスケーターの貸し出し事業者の社員や警察官が通行人に声をかけながら、新しい交通ルールを説明するガイドブックを配布していた。通りかかった都内の高校教諭、渡辺雄大さん（40）は「事故が増えないようにルールの周知を徹底してほしい」と話した。

新たなルールは、1日に施行された改正道路交通法で定められた。従来は原則として原付きバイク扱いだったが、最高時速20キロで、大きさなどの基準を満たす車体が新たに「特定小型原動機付自転車」と規定され、16歳以上であれば運転免許は不要となる。

自転車道の走行が可能で、ヘルメット着用も努力義務となるが、ナンバープレートやウィンカーなどの設置は必要だ。自動車損害賠償責任保険（自賠責）の加入も義務づけられる。

最高時速6キロに制御できる車体であれば、緑色のランプを点滅させた状態にして、歩道で乗ることも認められる。

電動キックスケーターは都市部を中心に数年前から普及が進んできた。交通違反や事故も増えており、警察庁幹部は「啓発や新たなルールの周知を徹底していく」と話している。

電動キックスケーターの交通ルール

	従来（原則）	7月1日～
分類	原付きバイク	特定小型原動機付自転車
最高時速	30キロ	20キロ（超える車体は原付きバイク扱い）
運転免許	必要	不要。16歳未満は運転不可
ヘルメット	必須	努力義務
走行	車道	車道、自転車道

【1】運転免許（めんきょ）がなくても乗れるようになったのはどのような車体で、どこを走ることができますか。また、どのようなことが義務づけられているか、記事を読んで書きましょう。

【発展（はってん）問題】もし電動キックスケーターを運転するとしたら、どのようなことに注意しますか。実際に起きた事故や交通違反（いはん）を調べた上で書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

年　組（　）名前

サイン

プラ製衣類カバー減らそう

◆山口県でクリーニング用マイバックを配布する取り組みが始まりました。（2023年9月12日　読売新聞山口版より）

県生活衛生組合

クリーニングマイバッグ配布

CO2削減へ 下関・山口で効果検証

マイバッグの使い方を実演する山野理事長（中央）と野寄選手（左）

温室効果ガスの二酸化炭素（CO_2）の削減に貢献しようと、県クリーニング業生活衛生同業組合（山野陽生理事長）が、クリーニング店で使われている使い捨てのプラスチック製衣類用カバーを減らす取り組みに乗り出した。手始めに、下関、山口両市の組合加盟店計27店舗でクリーニング用マイバッグ5000枚を無料配布。効果を検証し、来年度にも県内加盟全49店舗に広げたい考えだ。

持ち帰り時に汚れないよう衣類にかぶせているカバーは、昨年4月に施行されたプラスチック資源循環促進法で、排出抑制が求められる「特定プラスチック使用製品」の一つに指定された。同組合は利用者からカバーを回収し、園芸や建築用資材としてリサイクルする活動を昨年から進めたが、回収率は1割程度。そこで、カバー自体の消費を減らそうと県の協力を得て試験的に実施することにした。

マイバッグは最大縦140㌢、幅60㌢のナイロン製。スーツなら3～5着、シャツなら5～7枚入る。二重構造になっており、持ち込み時と持ち帰り時で衣類を入れるところを分けられる。マイバッグ利用者のクリーニング済み衣料には、カバーをかけない。配布するマイバッグは、活動を支援する県が用意した。

5日、下関市のライフクリーニング川中豊町店で、山野理事長らが出席して活動の発足式があり、県の「ぶちエコやまぐちアンバサダー」に任命されているサッカーJ2・レノファ山口の野寄和哉選手が、ユニホームをマイバッグに入れて使い方を実演した。

【1】なぜクリーニング用マイバックを配布するようになったのか、記事を読んでまとめましょう。

【2】どのような物が特定プラスチック使用製品に指定されているか、調べて書きましょう。

【発展問題】使い捨てにしている物で、繰り返し使うことができる物はありませんか。調べたり考えたりして、捨てないよう促す意見文を裏に書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

読売新聞社は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

2023年 9月 27日

★★★ ＜たのしい英語＞ What in the world?

年　組（　）名前

サイン

猫ピッチャー そにしけんじ
NEKO Pitcher 107
Kenji Sonishi

◆打席のミー太郎に対し、相手投手はなんと魔球「猫じゃらし投法」で勝負を挑むと宣言。ミー太郎は魔球を見て、なぜか大喜び。

What in the world?

いったいぜんたい

「what（何）」の疑問を強調した形です。「in the world」の代わりに「on earth（地球上）」や「the hell（地獄）」を入れても使います。

★こんな表現も使ってみよう★

- What the hell?
  いったい何だ、なんてこった
- How in the world?
  いったいどうなってるんだ

単語帳 feathery cat-toy：ねこじゃらし、delight：大喜び

★なぞってみよう★

What in the world?

What the hell?

©The Yomiuri Shimbun

読売新聞の特別版「正倉院宝物を学ぼう」を贈呈します

「第 75 回正倉院展」（10 月 28 日～11 月 13 日、主催：奈良国立博物館、特別協力：読売新聞社）の展示宝物などを紹介する特別版「正倉院宝物を学ぼう」（タブロイド判・オールカラー4 ページ）を、学習教材としてご活用いただける学校に無料で差し上げます。

（写真は昨年の紙面）

貝殻を薄く切ってはめ込む螺鈿（らでん）技法の細かさや、様々な動物の姿があしらわれた豪華なつくりなど、まさに「宝物にはびっくりがいっぱい」です。古代の人々の高度な技と美意識を、多彩な写真やイラストでわかりやすく説明します。国家珍宝帳（こっかちんぽうちょう）の筆頭に記された「九条刺納樹皮色袈裟（くじょうしのうじゅひしょくのけさ）」や、「楓蘇芳染螺鈿槽琵琶（かえですおうぞめらでんのそうのびわ）」など、今年の展示宝物を読売新聞日曜版の人気連載漫画「猫ピッチャー」の主人公、ミー太郎と一緒に学べる内容です。

特別版の贈呈は、10 月 1 日（日）までに以下の QR コードか、こちら（https://forms.office.com/r/fWfbffpn7V）からお申し込みください。お届けは 10 月下旬以降を予定しています（お申し込み・お届けは国内に限らせていただきます）。

＜お問い合わせ＞
読売新聞大阪本社　広報宣伝部（担当：古賀）　電話　06-6366-1529